

平成14年度第7回岡山市総合政策審議会

保健・福祉部会における主要な意見

1 日 時 平成15年1月30日(木)14:00～15:00

2 場 所 岡山市勤労者福祉センター 4階 大会議室

3 出席者 別紙委員名簿を参照(10名出席)

4 傍聴者 0人

5 会議の概要

高齢者策定専門委員会終了後、障害者福祉計画(仮称)の策定について自由に意見をいただいた。

6 主要な意見

国の補助事業である「市町村障害者生活支援事業」及び「障害児(者)地域療育等支援事業」が平成15年度から一般財源化されることは困るということで、政令指定都市やいくつかの県で、国に対して緊急の要望書を提出しているが、岡山市も出すべきではないのか。

国の施策がどういう形であれ、今まで行われてきた事業については積極的に進め、具体的な数値目標をたてて行うことを明言すれば障害者の方達も安心できるのではないかと。

一般財源化されてその用途が不明になると、他で使われても分からなくなり、現状のサービスより低下するのではないかと懸念をもっている。

市町村で予算もついて自由に事業ができればそれもよいが、国としてきちっと指針を出して決めてもらった方がよいのではないかと。